

うれしの 市議会だより

令和5年
(2023)

4月26日発行

Vol.69



令和5年 第1回定例会

令和5年度 予算決定	2~9
人事・陳情・討論・賛否表	10
市政を問う 一般質問	11~21
委員会レポート	22~23
ときの人	24

入学おめでとう!



2,900万円



当初予算

新庁舎建設に向けて4億円を基金へ積立

第1回定例会

令和5年第1回定例会は、2月28日に召集され、3月17日まで18日間の日程で開催されました。

今議会では、令和4年度、国の補正予算で「出産・子育て応援交付金」が創設されたことに伴い、専決処分の承認を求めるとして1件、嬉野市新庁舎建設基本計画について1件、条例などの一部改正9件、令和4年度の一般会計補正予算を含む補正予算5件、令和5年度嬉野市一般会計予算を含む当初予算5件、損害賠償の額を定め和解することの議案1件、人権擁護委員候補者の推薦について1件、追加議案として、建設工事請負契約の締結について1件、嬉野市監査委員の選任について1件、条例の制定を含む議

員発議2件の、全部で27件が上程され、慎重審議の結果すべて可決、承認されました。

一般会計当初予算

令和5年度の一般会計当初予算は、昨年度より額で14億600万円、率で7.9%増の191億2900万円が計上されました。

歳入

歳入では、市税が令和4年度の実績をふまえ、前年度当初より3.4%増の25億6551万円、国から地方へ国税の一部が配分される地方交付税は、昨年並みの47億5000万円、ふるさと応援寄附金など寄附金が額で2億円、率で5.7%減の33億円などで、中でも新庁舎建設に向け、その費用を積み立てるため

に基金からの繰入金金が、額で9億7161万円、率で57.2%増の26億6878万円などとなっています。

歳入全体では、市税や寄附金、使用料などによる自主財源が昨年度当初より額が9億1123万円、率で10.8%増の93億7442万円、歳入全体の49.1%を占めており、昨年度より1ポイントほど改善されています。

歳出

歳出については、人件費や扶助費などの義務的経費が全体の38.2%で73億767万円、農林、建設などの災害復旧事業や市道、農道などの改良事業費を含む投資的経費が84%で16億521万円、物件費や補助費、積立金などのその他経費が53.4%で

102億1610万円となっています。

科目別では、人件費などの総務費が全体の30.8%で58億9041万円、18歳までの医療費助成事業などの民生費に30.5%で58億2855万円、農林水産業費が41%で7億7923万円、商工費が25%で4億8660万円、土木費が6.5%で12億4854万円などとなっています。

厳しい財政状況の中、いかに有効的な予算執行となるのか、議会として厳しくチェックしていかねければなりません。

借金と貯金

今年度の市債（市の借金）返済のための公債費には、元金と利子を含め12億9379万円が計上されており、5年度末には86億5984万円の残高になると見込まれてい

過去最大
当初予算

191億



令和5年度 当初予算会計別総括表

会計名		4年度当初予算	5年度当初予算	増減率	
一般会計		177億2,300万円	191億2,900万円	7.9% 増	
特別会計	国民健康保険	35億7,378万円	35億6,402万円	0.3% 減	
	後期高齢者医療	3億9,965万円	4億1,982万円	5.0% 増	
	嬉野温泉駅周辺 土地区画整理事業	2億1,965万円	9,119万円	58.5% 減	
企業会計	下水道事業	収益的収入	7億7,758万円	8億3,104万円	6.9% 増
		収益的支出	7億7,758万円	8億1,769万円	5.2% 増
		資本的収入	4億1,171万円	5億0,559万円	22.8% 増
		資本的支出	5億9,147万円	6億5,211万円	10.3% 増

ます。
また、基金（市の貯金）は、今年度19億円程度を積み立て、26億円程度を取り崩すため、5年度末には残高が99億9800万円程度になると見込まれています。

市民一人当たりこれだけ歳出 人口 24,996人 (5年2月末)



1人当たりの歳出総額
765,282円

民生費
233,179円

土木費
49,949円

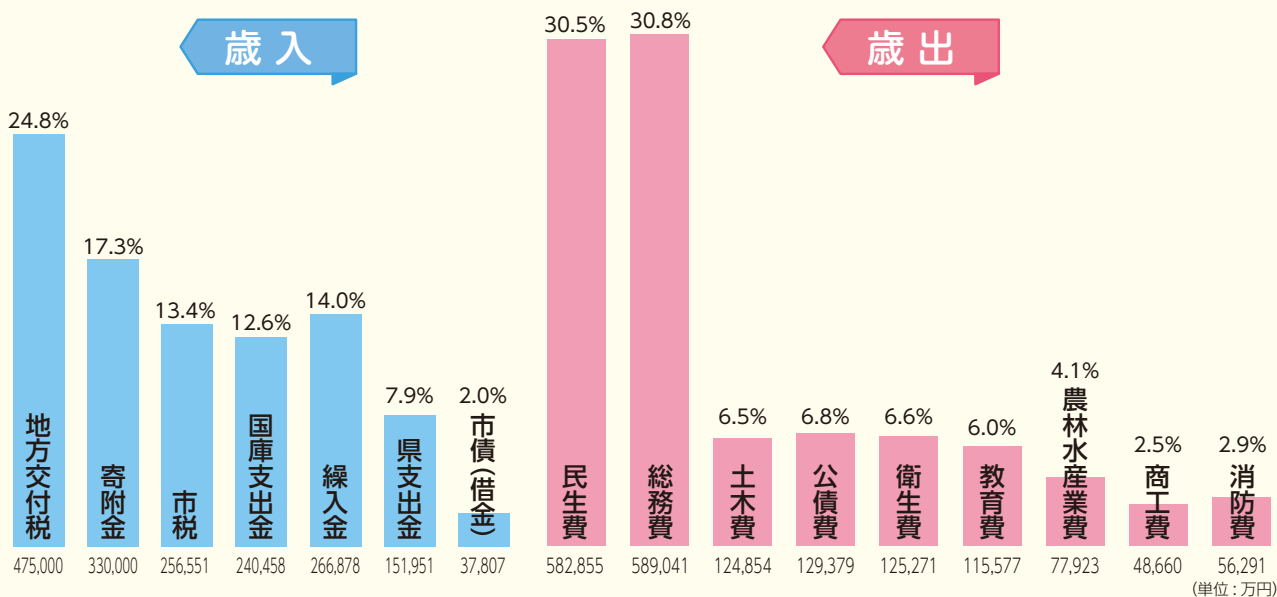
公債費
51,760円

教育費
46,238円

農林水産業費
31,174円

商工費
19,467円

令和5年度 一般会計当初予算の内訳





新庁舎建設へ始動

新庁舎建設基本計画

今定例会において、新庁舎建設基本計画が上程され、賛成多数で可決されました。

この計画は『すべてのひと・自然にやさしい安全・安心なうれし舎』を基本理念として、嬉野市庁舎整備基本構想をふまえ、新庁舎の配置や規模、概算事業費などを協議・検討されたものです。

その内容は、庁舎面積が約6500㎡、総事業費約50億円（本体工事約35億円）であり、耐震構造で脱炭素の取り組みとして庁舎のZEB化を取り入れた概要となっています。

れました。

これからの建設スケジュールとしては、令和5年度に基本設計・実施設計、ポロポールの公告と設計業者の決定がおこなわれ、令和6年度に基本・実施設計が完了し、



▲ 新庁舎建設予定地

本体工事に着工。令和7年度末に竣工予定です。議会としても市庁舎検討特別委員会を設置しており、協議・検討を重ね、市民の方々にとって利便性の高い庁舎の在り方を検討していきます。



人口増へ向けて 民間宅地開発支援事業 700万円

この事業は、良好な宅地の開発を促進し、移住・定住による人口の増加をもつて地域の活性化を図ることを目的とする事業です。

市内の都市中核拠点、居住誘導ゾーン（嬉野庁舎を中心とする市街地周辺）、地域中核拠点（塩田庁舎を中心とする市街



▲ 今後の開発を望む

地周辺）、地域拠点（吉田、久間、大草野の人口集積地周辺）周辺の土砂災害・浸水等の危険の少ない場所、または防災上の配慮が施された場所で、2区画以上の宅地を開発・分譲する民間事業者に対し1区画（165㎡以上の区画に限る）あたり20万円の補助金が交付されます。

また、その民間事業者へ土地を売却する者に売

問 総事業費の内訳は。

答 宅地を開発・分譲する事業者は20万円の補助金を20区画分で400万円。

土地を売却する者への補助金として3件分300万円を想定している。



食べて美しく 美の温泉地づくり事業 60万円



▲ 食べて感じるパンフレットの作成を

国の支援事業「地域一体となった観光地の高付加価値化事業」を活用し、美の湯から、美の温泉地づくりへ向けた取り組みを進めるための事業です。内容としては「ビューティーリズム」と題し、美をテーマとした美食・美観・美技・美湯・美心に磨きをかけ、嬉野ならではの魅力づくりと

おもてなしに努めることを目的としており、今年度は「美食の温泉地づくり」の取り組みを行うものです。市内の事業所では、多彩な食材を利用し、その素材の良さを引き出す料理人が、地産地消や調理法、雰囲気、季節感などの食の魅力向上に取り組みんでいます。

レットやお品書きを作成するときに補助金が交付されます。

問 対象施設はどのようなものか。

答 嬉野産の食材を使って、料理の提供をしている施設を公募する。

問 一施設への支援額はいくらか。

答 製作費の半額で10万円を上限に予定している。

具体的には市内公共施設の公衆トイレを洋式便器に改修する等の環境整備を行います。

事業費の財源としては国からの補助として2分1の350万円が交付され、残りは市の負担となります。

議会として、民間事業者へも積極的に国の事業



▲ 改修予定の公衆トイレ

快適な旅へ インバウンド受入 環境整備高度化事業 700万円

この事業は、国内外のコロナウイルス感染症対策が緩和された事で、今後インバウンド旅行者の来訪の増加が予想されることから、インバウンド旅行者が訪れると見込まれる施設のトイレの洋式化および、その他設備の改修を行うことでインバウンド来訪者の利便性向上等につなげるため、国のインバウンド受入環境整備高度化事業を活用して行うものです。

を活用し施設の利便性向上を図る旨の周知を行う必要性も指摘しました。

問 具体的な改修箇所と内容は。

答 湯遊広場トイレと高速インター待合所トイレの2カ所を洋式温水洗浄便座に改修する。

問 その他の設備の改修とはどのようなものか。

答 自動洗浄化を基本に、ベビーカーの設置や、おむつ交換台の設置等も行う。

うれしの茶で健康宣言

お茶で育む街づくり事業 200万円

嬉野市は、令和3年11月に市民の皆さまの健康維持と、うれしの茶のPRを目的として『嬉野市お茶で健康宣言』を発出いたしました。その宣言内容である、お茶による健康推進活動や小学生への茶育活動を具体化する



▲ おいしいお茶で健康増進を

ために、(株)伊藤園との連携協定を結んでいます。令和4年度は、西九州新幹線開業イベントなどによる「うれしの茶」のPR活動を開催するため、予算化されませんでした。が、今年度予算化されることになりました。

問 事業内容としては、お茶による健康推進啓発活動のためのフォーラムの開催や小学生への茶育活動、SDGs教育活動、茶殻リサイクル活用事業などが予定されています。連携協定を結んでいます。事業所への委託事業として展開されますが「うれしの茶」を使った、市民への健康推進やPR活動など、実りある事業となる事が望まれます。

答 小学生への茶育活動の内容とはどういったことか。

問 何年生を対象におこなうかなど、具体的内容はこれから詰めていく。

新たな移動手段として

塩田町内予約型乗合交通事業 257万円

この事業は、廃止代替バス路線である乗合タクシー上久間線の利用低迷を受け、令和3年度に策定した「嬉野市地域公共交通計画」に基づき、需要に応じたサービス水準の適正化、また同路線を

含め周辺の公共交通空白地域へも対応した、塩田地区全体をカバーする予約型乗合（デマンド）交通への転換を図るものです。

内容としては、塩田地区全域を対象としてダイ

ヤを設定した上で、予約型乗合タクシーを運行するもので、利用にあたっては、利用者の自宅と塩田地区の中心部の主要施設を結ぶ限定の「区域運行」となります。

この事業により、公共交通空白地域にも対応することで、移動の網羅性を高め、利用者の利便性向上が図られることに期待します。



▲ 公共交通空白地域のカバーのために

問 運行はいつからか。

答 令和5年10月からの予定である。

問 運行日は毎日か。

答 月曜日・水曜日・金曜日を予定している。

問 財源として補助金等の活用はあるのか。

答 一般財源でお願いしている。

グローバルな人材育成を目指して 英語活動支援事業 (オンライン英会話) 1471万円

この事業は、現在取り組まれている小学4年生から6年生までの外国人講師とのオンライン英会話（英語活動支援事業）を、新たに小学1年生から3年生と、中学1年生も対象に事業を拡大して行うものです。

事業目的として、義務教育段階からのグローバル化に対応した教育環境づくりを一層進めるため、児童生徒一人ひとりが英語のシャワーを浴びるようになり、話す機会を確保し、英語に対する興味や関心を高め、個別最適な学習の充実と「使える英語力」の育成を目指します。

問 内容と年間回数は。
答 小学校5・6年生はマンツーマンのオンライン英会話を年間16回。



▲ 英語のシャワーを浴びる子どもたち

4年生は、1人の講師に対し4人グループでの英会話を年間6回。

3年生は、講師1人に対しクラス全員の英会話を年間3回と、講師1人に対し4人グループでの英会話を年間5回。

1・2年生は、講師1人に対しクラス全員の英会話を年間8回。

中学1年生は、6月から英語の授業を活用し講師と1対1の英会話を年間16回である。

この事業は、従来のように建築後40～50年程度で全て建て替えるのではなく、コストを抑えながら建て替えと同等の教育環境を確保するための事業です。

長寿命化改修とは老朽

安心・安全な学び舎づくりへ 学校施設長寿命化 改良事業(大草野小) 2100万円



▲ 築50年ほどの大草野小学校

化した建物について物理的な不具合を直し建物の耐久性を高めることに加え、建物の機能や性能を現在の学校が求められている水準まで引き上げる改修を行うことです。

具体的には、建物の耐久性を高めるとともに、機能性や性能を向上させ、近年の多様な学習形態への対応やバリアフリー化、木材の活用等を図るものです。

問 事業スケジュールは

どうなっているか。
答 令和5年～6年で基本・実施設計と仮設校舎建設を行い、令和7年～8年で長寿命化改修工事を完了し、令和9年で供用開始と考えている。

問 改修内容はどんなになっているか。
答 対象面積は1989㎡でエレベーター増築や多機能トイレの増築、バリアフリー化、水道・電気・ガス等のライフラインの更新などである。



事業のなかみ



もしものために

ブロック塀撤去事業 40万円

ブロック塀の倒壊による事故を未然に防止し、通行人の安全と災害時の緊急車両の通行を確保し安全で安心な街づくりを推進するために、今回新たに撤去を行う者に対し

補助金を交付することになりました。

この事業は、社会資本整備総合交付金事業により行うもので、国(1/3)県(1/3)市(1/3)の負担割合で、1件当たり20万

円が補助限度額でその1/2が補助されることとなります。

対象になるブロック塀は、通学路や避難路などに面しており、塀の高さが80センチ以上のもので、点検チェックポイントにより倒壊の危険性があると判断されたものになります。

問 現在市内で、危険と確認されたブロック塀は何箇所ぐらいか。

答 3カ所である。

問 必ず撤去しなければならないのか。

答 個人所有の物件であり、強制的にはできないので、倒壊した時の危険性などを含め、十分な説明を行いながら協力していただくよう進めたい。



▲ 安心安全な街づくりを目指して (参考画像)

よりよい環境づくりへ ハウス団地基盤整備事業 625万円



▲ 整備が進むハウス団地

立を進めるために、団地の追加基盤整備を行う事業費として、市の一般財源で補正予算が計上されました。

今後モトレーニングファーム卒業生や意欲ある就農者の予定が見込まれており、新規就農者の施設園芸団地として第2のハウス団地基盤整備に向けての検討が行われています。

問 追加基盤整備のハウス団地はどこで、どのような事業か。

答 塩田町宮ノ元、スマートアグリ宮ノ元団地の法面コンクリート工事である。

問 現在の新規就農者と予定の就農者の数は。

答 現在トマト栽培就農者3名、今後の予定就農者は5名でキュウリ・トマト・イチゴ栽培を予定されている。

この事業は、就農者の資金面や圃場選定に苦慮されている課題を解決すべく、暗渠排水、土層改良、区画整理工、法面張りコンクリート等の整備を行い、また市内外からの新規就農者の負担軽減と安定した営農形態の確



切れ目のない支援に向けて ゆっつら子育て応援事業 1681万円

今議会において専決処分されたこの事業は、すべての妊娠・子育て家庭が安心して出産・子育てができるように切れ目なく支援する事業です。



▲ ゆっつら子育て支援 未来のために

問 伴走型相談支援とは。
答 妊娠届出時、出生から乳児家庭全戸訪問時に面談を実施し、すべての妊婦・子育て家庭が安心して

令和4年度の補正予算に引き続き、令和5年度の当初予算でも2211万円が予算化され、事業は継続されます。

けるため、面談や継続的な情報発信を行う伴走型相談支援と経済的支援の充実を図ることになります。

問 対象者は。
答 令和4年4月1日以降に出生された方に支給し、所得制限は無い。

問 経済的支援の内容と支給時期は。
答 妊娠届出時の面談実施後に5万円、出産後の乳児家庭全戸訪問（2か月児訪問）後に5万円が支給される。

して出産・子育てができるように切れ目なく支援することである。

その他の3月補正予算

項目	金額
自立支援給付費（介護・訓練給付費）	4,800万円
交通安全対策事業	950万円
農村地域防災減災事業	1億2,650万円
空調設備改修事業（吉田中）	730万円

その他の当初予算

項目	金額
消防施設整備事業	5,300万円
移住促進応援事業	4,070万円
庁舎整備関連事業	2億3,260万円
女性が輝くまちづくり推進事業	1,000万円
国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会準備事業	9,064万円
認定こども園整備事業（下宿保育園）	9,289万円
小学生・中学生・高校生等の医療費助成事業	6,282万円
うれしの産うまかもん給食支援事業	178万円
ハウス団地整備事業	4,790万円
関西・中国地区都市圏対策事業	772万円
流域治水推進事業	1,850万円
地域脱炭素事業	2,260万円
未来技術地域実装事業	1億円

建設工事請負契約の 締結について

市道永尾線道路災害復旧工事（地すべり対策工）について、条件付一般競争入札で、日本地研株式会社佐賀支店と2億2984万5000円で契約を締結するための議案が提出され、議決しました。

人事

● 監査委員の選任に
同意しました。
監査委員
大久保 正人氏
(塩田町)

● 人権擁護委員候補者の
推薦に答申しました。
人権擁護委員
八田 正文氏
(塩田町)

陳情

日本全体で解決すべき
問題として、普大間基地
周辺子どもたちを取り
巻く空・水・土の安全の
保障を求める陳情書
住所：沖縄県宜野湾市
氏名：＃コドソラ
代表 与那城千恵美

反対討論

山口虎太郎 議員
議案第11号
嬉野市新庁舎建設基本
計画へ反対する

平成18年1月1日に嬉
野町、塩田町が合併し17
年を経過し、この度の嬉
野市新庁舎建設は市民に
とって重要課題である。
新庁舎建設基本計画の
市民説明において新庁舎
建設と事務所の位置問題
は説明すべき重要課題で
ある。塩田説明会での市
長へ求められた市民の声
は重い。対話を重ね、市
を二分する事が無いよう
再度説明は丁寧にと和を
もって当たることを求め
る。

執行部は当初スケジュー
ルに沿い令和5年6月議
会への上程が適切である、
市民の理解を図り、急ぐ
べきではないと判断する。
よって議案第11号嬉野
市新庁舎建設基本計画に
反対する。

反対討論

阿部愛子 議員
議案第18号
令和5年度嬉野市国民
健康保険特別会計予算
に反対する

国の国民皆保険ができ
た時には応分の負担と
なっていた。
現在、被保険者の国保
負担が多くなっている。
高齢化や価格高騰で保
険料を払えないで困つて
いる人がたくさんいる。
そのことを思い、私は
議案第18号に反対する。

反対討論

阿部愛子 議員
議案第19号
令和5年度嬉野市後期
高齢者医療特別会計予
算に反対する

高齢者の2割負担には、
病院への通院を控えたり
する動きが出て来ている。
このことは、命の危険
につながると思われるので、
議案第19号に反対する。

令和5年第1回定例会議案賛否表(主なもの)

○は賛成 ●は反対 議長は採決に加わりません

議案番号	議案名	番号 結果	1 表決数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
				水山 洋輔	大串 友則	古川 英子	阿部 愛子	山口 卓也	諸上 栄大	諸井 義人	山口 虎太郎	宮崎 良平	川内 聖二	増田 朝子	森田 明彦	芦塚 典子	田中 政司	梶原 睦也
議案第2号	嬉野市個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	嬉野市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	嬉野市重度心身障害者の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	嬉野市道の駅等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	嬉野市新庁舎建設基本計画について	可決	14:1	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	令和5年度嬉野市一般会計予算	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	令和5年度嬉野市国民健康保険特別会計予算	可決	14:1	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	令和5年度嬉野市後期高齢者医療特別会計予算	可決	14:1	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	令和5年度嬉野市下水道事業会計予算	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



私たちのお願いどうなった!!



議員とかがたろう会を開催

次ページから 一般質問

15議員が質問



かがたろう会

諸井 義人 議員

P12

山口 卓也 議員

P12

森田 明彦 議員

P13

水山 洋輔 議員

P14

古川 英子 議員

P14

梶原 睦也 議員

P15

芦塚 典子 議員

P16

川内 聖二 議員

P16

諸上 栄大 議員

P17

山口 虎太郎 議員

P18

大串 友則 議員

P18

増田 朝子 議員

P19

田中 政司 議員

P20

阿部 愛子 議員

P20

宮崎 良平 議員

P21

令和4年10月25日に塩田地区、嬉野地区の2カ所において、民生委員児童委員、消防団、婦人会の皆様を対象に各テーマを設け、かがたろう会を行いました。皆様からたくさんのお意見や要望をお聞きし、執行部へ伝えましたので、その一部を報告します。なお、ご意見などのすべては上記の二次元コードからご確認ください。(市のHPにも掲載しています。)

Q 今寺の通学路の歩道が危険でいつ整備されるのか。

A 建設課

今寺交差点から県道嬉野下宿塩田線の区間において、歩道設置計画図面が佐賀国道事務所より示され、地権者等を対象とした説明会を開催した。

用地の確保ができ次第での着手となるため、現時点においては明確な回答ができないが、一日も早く整備ができるよう努力したい。

Q 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済対策として、周辺自治体はクーポン券や商品券で助かったという声を聞いた。嬉野市は「うれしかーど」に限定されたが、使える店舗に限りがあり使い勝手が悪い。商品券とかで配ってほしかった。

A 観光商工課

「うれしかーど」は、地域内でしか利用できない限定的なカードであり、投入する原資が、確実に市内での消費につながり、循環性の高いカードであると認識している。商品券ではなく、カード事業

は、使い切りではなく事業終了後も継続して市民が市内の店舗で買い物をするきっかけに、また将来的に、市民カードとして定着させ、例えば、健康マイレージや、ボランティアポイントとして活用できるようにするための考えである。

Q 移動手段の確保のために地域交通の充実を図ってほしい。また、買い物ができるように移動販売を推進してほしい。

A 新幹線・まちづくり課、福祉課

地域交通の充実については、令和3年度に策定した嬉野市地域公共交通計画に基づき、地域の実情に合った公共交通の確保に努めていきたい。買い物支援については、

生活支援体制整備事業において、地域の課題解決に向けて検討しており、移動や買い物問題についても、ボランティアの協力による取り組みも実施しているが、多くの地域で困難である状況と認識している。移動販売についても、買い物支援の一つの方策として、生活支援体制整備事業の中で関係者と協議を行いながら、検討をしていきたい。

Q 避難する際に、近所の公民館を避難所としてできないのか。

A 総務・防災課

地域の公民館(地区公民館)は、行政区または、自主防災組織で自主的に開設していただく必要があり、市としては公設の避難所への避難を呼びかけている。しかし、状況

によっては地区公民館に避難するのが有効な場合もあり、日頃から行政区や地域コミュニティとの協議を重ねながら、どのような運用が可能か検討していきたい。

Q 消防団員の定数の見直しと編成を検討すべきではないか。

A 総務・防災課

消防団の処遇改善については、総務省より通達があつており、消防団員の確保と良好な運営のために参考にしたいと考えている。これに併せ、消防団員の定数の見直し、部の統廃合についても検討が必要であるので、適正な人員など今後団との協議を進めていきたい。



諸井 義人 議員

近年の火災発生 件数の推移は

答 建物火災は
わずかに増加傾向



対策されている。

空き家対策について

諸井 空き家及び特定空き家の状況はどうか。

総務・防災課長 2月末の最新の調査で、空き家が516件、特定空き家の認定物件は無い。空き家の増加に関しては、人口減が影響しているよう

諸井 消防法に規定する40以上の防火水槽はいくらあるか。

総務・防災課長 市内全域では75基あり、地域や消防団で日常の点検管理を行っている。

諸井 伝建地区や佐賀県遺産、寺社等の防火対策はどうなっているか。

教育長 防災計画を作成し、計画に従って消防設備を配置している。個人所有の遺産等については、消防署の指導の下に防火

諸井 空き家バンクの利用状況はどうなっているか。

諸井 空き家バンク利用者で市外からの移住者は何件か。

企画政策課長 市内が27件で県内市外11件、長崎県10件、福岡県5件、そ

諸井 高齢者が増えればその後空き家も増える状況である。市内にどれくらいの高齢者がいるのか、また今後の対策は。

行政経営部長 市内に989名の後期高齢者の一人暮らしがおられる。空き家になる前からの対策が必要になってくる。

企画政策課長 住宅の登録物件が94件で成約件数は63件となっている。空き家全体からすると一握りといえる。

諸井 高齢者が増えればその後空き家も増える状況である。市内にどれくらいの高齢者がいるのか、また今後の対策は。

行政経営部長 市内に989名の後期高齢者の一人暮らしがおられる。空き家になる前からの対策が必要になってくる。



▲ 整備が急がれる水利施設

山口 卓也 議員



県立大学の誘致に 取り組む考えは

答 県の動きを注視しながら情報収集を続けたい

山口 県が県立大学に関する調査を令和5年度に実施するというところであるが、嬉野市の土地の状況を事前に県に示すことはできないのか。

市長 県立大学の規模感、知事の会見等で示されているが、実際の建物に要する面積等が詳細にされていない中で、候補地を示すことは非常に難しい。

山口 全国の県立大学や市立大学の面積を確認すると、大体3畝から平均的に5畝くらいである。

県は、5年後を目途に県立大学の整備を考えているということであるが、県内には同程度の広さがあり整地が完了する見込みの土地はそんなに多くはないと思う。嬉野の医療センター跡地は令和7年までに建物解体と整地の予定で、広さも10畝あるので、候補地として県に提示することはできないか。

市長 医療センターの土地だけではなく、県の所有するものに関しては情報提供を行っている。



▲ 嬉野温泉駅東側の広大な農地



森田 明彦 議員

駅東側農地周辺の 取引規制を伴う計画は

答 制限のかかる
用途地域の指定はない



森田 計画は今後もないと理解した。農地の譲渡等については所有者の方が基本的には自由にできると認識して良いか。

新幹線・まちづくり課長

現地については農地の適用なので農地法等の手続きが済めば個人の取引等は可能。

森田 譲渡後の活用の際

し景観条例等の適用は。

新幹線・まちづくり課長

景観については届出の義務はあり、高さ等でも条例に従っていただく必要がある。

公園および公有地内
石造物の管理について

森田 武雄市の公園で石

仏の倒壊により児童が負

傷する事故が発生した。

報道後、本市の石仏等の

点検は行われたか。

新幹線・まちづくり課長

市内公園には全体で90基程度の石碑等が有り、遊具点検の折に目視での点検を行っている。

教育総務課長 事故報道

後、文化財保護審議会委員及び石材屋さんの同行を得て石碑等の目視点検を行った。

観光政策について

森田 環有明海観光連合の現況と方向性を伺う。

観光商工課長 昨年6月

に福岡、佐賀、長崎、熊本、4県、11の観光協会が連携する組織として設立され、各地の名所をめぐ

るツアーの造成や地場産品の販路拡大などに取り組むこととなっている。

大学問題について

森田 佐賀県立大学設立

構想の報道後、2月中旬で県内11の市町が誘致の意向を示された。

本市では誘致の考えはあるか。

市長 県議会の議論を注

視し、情報収集に当たりたい。

森田 武雄市に4年制大

学新設計画が報道され、当市を含む県内市町との連携を望むとの発表がなされたが所感を伺う。

市長 素晴らしいと思う。

今月初旬には学長、理事長を訪問し連携について意見交換も行った。

子育て支援センター
について

山口 現在、嬉野庁舎第2庁舎1階に子育て支援センターがあるが、新庁舎建設に当たって、今後どのような配置を考えているのか。

企画政策課長 新庁舎の中

に配備すべきか、それとも別の場所に設置すべきか様々な視点から検討が必要で、担当課と協議の上、子育て世代の方々の

ご意見を踏まえながら決定してきたい。

山口 担当課としてはど

のように考えているか。

子育て未来課長 地域子

育て支援拠点としての子育て支援センターは、子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての悩みなどを相談できる地域の身近にあるべきと考え。また、専用施設として建設していただきたいと思います。



▲ 医療センター跡地を候補地として誘致できないか



AEDの貸し出し体制は

答 即座に貸し出すことはやっていく



水山 洋輔 議員



水山 市ホームページに公開してあるAEDの設置一覧表は最新の情報か。
財政課長 最新のものではないため、至急更新する。

水山 AEDの管理運用についてはどのようになっているのか伺う。

財政課長 財務規則にそって適正に管理を行っている。

財政課長 市の施設に設置しているAEDは基本的には市の施設利用者に対応するものであり、施設の開館時等はいつでも使用できる状態になっている。屋外、公園等は常時使用できる場所に設置をしている。

水山 AEDをコンビニ等と協力して24時間使える取組はできないか。

市民福祉部長 共同で配置することは可能であるが、必要性を考慮して検討しなければならぬ。

水山 AEDの利用環境



古川 英子 議員

市街地への案内表示を

答 国道事務所や警察、各所とも研究をしたい

古川 国道34号線を武雄方面より進めば、市街地と国道の分岐点がわかりにくいので、市街地への案内表示が必要ではないか。

市長 三叉路なので交通規則との兼ね合いがあるが、温泉街という誘導など望ましい部分もあるの

で、国道事務所や警察、各所と研究したい。

古川 賑わいのある街づくりの一環として案内表示や看板等、市独自のものができないか。

観光商工課長 地域一体となった景観づくりに取り組むことも有効なこと

だと思っている。関係者と協議したい。

古川 次世代モビリティの運用開始が未定であり、新幹線が開通した今、実際に観光客が不便を感じている。他の方法で市街地へ移送できないか。

新幹線・まちづくり課長 嬉野温泉駅から市街地までの2次交通はバスとタクシー事業者による運行が行われている。タク

シー会社に電話する案内や宿泊者には各旅館から送迎のサービスもやっている。別の手段を行うことは想定していない。

古川 路線バスを降りて市街地へ行く場合、近いバス停で降りても案内表示はなく、バスセンターで降りたら市街地は遠くすこく優しくない街だと思うが。

建設部長 目的地には、スマホ等を利用され移動されているようだ。

高齢者への支援について **古川** 高齢者へ給付金やクーポン券・バス回数券入浴券などの配布はできないか。

福祉課長 今後、国や県の制度の動向、補助金など活用できる財源の確保に努めながら、関係課との協議の下で検討を行っている。



▲ 市街地への見やすい表示を

古川 1時間に2〜3本バスが運行するならば、自動運転車両が必要なのか。

新幹線・まちづくり課長 自動運転車両は、移動そのものが観光のコンテ



▲ いざという時のために

の整備や意識づくりについて市長の考えは。
市長 AEDが必要な場面はどこで起こるか分からないため、自由に使えるようにするのが当然と考える。購入補助金制度を活用して一台でも多くしていき、わかりやすく表示することを心掛ける。

施設園芸団地について

水山 宮ノ元の施設園芸団地の今後の入植予定を伺う。

市長 令和7年度までにトレーニングファームの修了生が8名入植予定。

水山 市で整備した3カ所の井戸は、入植者が増えた際にも十分な水の供給ができるか伺う。

農業政策課長 管理組合を設置しており、組合内で調整する。また夏場は、水稲用の水路があるので、用水の活用ができると考えている。

水山 園芸ハウス団地の推進について伺う。

農業政策課長 ハウス団地への入植希望者が数名いると聞いている、現在第2のハウス団地整備に向けての検討を進めている。



梶原 睦也 議員

高齢者、中山間地域の
 買い物支援はどうする

答

生活支援体制整備事業
 の中で協議をしていく



梶原 高齢者や中山間地域にお住いの方の買い物支援はどうするのか。

市長 生活支援体制整備事業の中で協議をし、生活支援の選択肢を増やす取り組みを行う。

梶原 移動販売や宅配サービスへの取り組みも必要では。

市長 必要性、ニーズを調査し導入を検討する。

梶原 医師会との連携の中でオンライン診療に取り組みべきではないのか。

市長 国のデジタルに関する交付金等の情報も収集し、今後オンライン診療の旗振りをしていく。

梶原 本市の認知症対策はどうされているのか。
福祉課長 認知症地域支援推進委員が中心となり総合相談や認知症カフェの開催、さらには認知症

初期集中支援チームを専門病院に委託し専門的な視点できめ細かに対応している。

梶原 8050問題をはじめ、引きこもりなどのメンタルヘルスケアのための心のサポーター制度が2024年度に本格導入されるが、本市でも取り組むべきではないか。

健康づくり課長 情報収集し勉強していく。

梶原 ヤングケアラーは小学生で15人に1人、中学生で17人に1人、高校生で25人に1人が存在するといわれているが本市での取り組みは。

市民福祉部長 自分がそうであると自覚していないケースが多く把握が難しい。関係部署で連携し対応できる体制づくりを行い、福祉の窓口である

地域包括支援センターや社会福祉協議会、児童相談所、各学校関係等と連携を図り必要な支援につなげるよう努める。

梶原 様々な環境の中、支援が必要な方がまだまだたくさん存在する。市民の生活と命を守るのが市長であると考えている。

市長 今、社会が大きな変革期にある中で誰かが一方的に誰かを支える社会はもう成り立たないと思う。横のつながりの中で市民同士が支え合う社会づくりが大事だ。命を守り、命を大切にすることを第一に市政運営に当たりたい。



▲ 高齢者を支える地域包括支援センター



芦塚 典子 議員

文化財をふるさと学へ活用しては

答 地域の学習を通して



芦塚 小・中学校は嬉野市歴史民俗資料館を見学利用しているか。

教育長 小学校数校が見学しており、他学校は出前授業等を利用している。

芦塚 歴史のある古い建物や町並みを保存していきたい（小学生アンケート）とある。ふるさと教育学を作ってはどうか。

教育長 地域の学習を通して郷土の文化を深める教育をしていく。

芦塚 嬉野市は千年以上の歴史があるので市史編纂とともに歴史の史実を明確にしていけたら、市内観光につながるが。

教育長 文献や市史編纂の資料にも目を通し観光への活用を考えていく。

将来推計人口と中期財政計画について

芦塚 20年後から40年後の将来推計人口は。

企画政策課長 2040年には2万人を割る予測がされている。2045年には1万7000人。

芦塚 中期財政計画の今後の見通しは。

財政課長 市税はやや減少、扶助費等が増加する。財源不足は基金から補う。

芦塚 2040年までの借入金返済計画は。

財政課長 20年後の返済計画は出せない。

芦塚 道路、庁舎、学校等の公共施設の更新費が今後40年間で約458億円（毎年約11・4億円）必要となるが。

財政課長 更新費は中期計画に盛り込んでいる。

芦塚 社会保障費の増、人口減、公共施設更新費を盛り込んだ中・長期財政計画が必要と思うが。

財政課長 長期財政計画は困難である。

治水計画について

芦塚 市の河川対策は。建設課長 河川のしゅんせつ・河道掘削は計画的に県で行っている。

芦塚 ここ3年間の治水対策が見えてこないが。

市長 対策等々している。

副市長 2級河川の流域治水協議会でさまざま実施している。

芦塚 目に見える形で市民の生命と



▲ 歴史の観光活用へ

川内 聖二 議員



市内周遊バスの構想は

答 自動運転車両での本格導入を目指す

川内 嬉野温泉駅からの二次交通は、今後どのような考えか。

市長 現在、JRバスや祐徳バス、市内タクシー業者による運行が行われ、宿泊業者の送迎サービスも行われている。

また、さがMaas事業の一環として、カーシェア事業が新幹線開業に併せて展開され、シェアサイクルに関しては、1月末より実証実験を開始している。

川内 シェアサイクルは順調に利用されていると

伺ったが、市民に活用してもらおう考えは。

新幹線・まちづくり課長 観光マップと一体になった利用促進のパンフレットなどの作成を進め、日常使いとして多くの方に利用していただくように努力する。

川内 自動運転車両を運行するとして、どれほどの期間を要するか。

新幹線・まちづくり課長 期間としては、令和5～6年度で公道での実証実験を行い、それを基に本格導入に向けて進めて

諸上 栄大 議員



ペット同伴の観光施策の展開は

できる対応や支援をすすめていきたい



▲ ペットと一緒に楽しい旅を

諸上 現在取り組まれている、うれしの未来づくり塾の内容を伺う。
観光戦略統括官 市内の地域資源を生かした観光商品づくりやマーケティングなどの講座を通じて、中核的な観光人材育成を図り、嬉野市全体の活性化につなげていく取り組みである。

意味では、プレイヤーを増やすということが嬉野の今後の観光地として生き残りを図っていく上で重要なことと考える。各団体に、プレイヤーを多種多様につくり、今後の観光地づくりが観光事業者だけではなく、様々な視点で考えていくような動きを行う、それが最大の狙いと考える。
諸上 今後のイベントの在り方や集客に向けた取り組みの考え方は。
市長 イベントはあくまで地域の魅力発信の一つの手段だと捉え、来訪者

の満足度を最大化するためにも宿泊が嬉野の武器であり、旅館等でも取り組まれている高付加価値化事業であると思う。
観光戦略統括官 イベントや宿泊での強い感動を、次の来訪意欲につなげていくサイクルをつくっていくために、企画から行動まで自ら動くような人材をたくさん育てていきたい、それが何をやるかというより大事だと考える。
諸上 来訪者や宿泊者が増やす高付加価値サービスの次なる一手として、ペットと同伴できる宿泊

いく。
 県内でも初で、公安委員会などの許可や法的な案件をクリアするため協議を進める。ランニングコーストも2力年で事業スキームを立て、しっかりと検証していく。
川内 自動運転の研究を進めながら、協力を頂いている交通会社に市内周遊バスの運行を要望して、観光客だけでなく市民も利用できる周遊バスの構想は。

日常生活の移動手段を視野に事業を進めていく旨で、最終的には市民のものとして政策を展開している。
災害復旧について
川内 大草野南下地区並び不動山大舟地区の復旧工事完了までの工程は、
建設部長 南下地区は、抑制工が今月に完了予定で、抑止工が今年の12月に完了予定と県より伺っている。大舟地区は、抑制工が今月末に完了し、その効果を検証し抑止工の是非を検証するため完了時期は未定と伺った。

への取り組みは考えられないか。
観光戦略統括官 ペットを飼う方々がとても増えている点では、ペットと一緒に旅行に行くというニーズも増えている。観光客のニーズを把握しながら、よりできるような対応、また、支援というのを進めていければと考える。

その他の質問
 「大学誘致について」
 「SAGA2024国スポ・全障スポについて」



▲ 今後の事業展開を注視する

山口 虎太郎 議員



就農人口や農業産出額の減少をどうする

答 具体的な農業振興策を講じる

山口 生産者の適正な価格形成をどうする。

農業政策課長 日本の自給率は38%、地産地消の取組が重要になる。

山口 うれしの茶活性化委員会で適正な価格形成の議論は怎么样了。

茶業振興課長 適正な価格には、農業者側から茶商への問合せや質問等があつており今後も大きな課題である。

山口 新規認定農業者制度、夫婦新規就農者への準備資金補助額は、1人150万円だが夫婦2人

では300万円になるのか。

農業政策課長 夫婦で受け取る場合は225万円である。

山口 農家へ嫁がれ、就農される人への補助はあるのか。

農業政策課長 審査が毎年6月にあり、計画書が出され、認定を受けなければ対象にならない。

市長 事業の多角化に取り組んでいる家族農業もあり支援は取り組んでいきたい。



大串 友則 議員

地場産業の振興部署設置を

答 推進等に
取り組んでいる



大串 今年、塩田津に休憩所やトイレを備えた公開活用施設「まちなみテラス」がオープンし約2か月が経過し、本日までたくさんの方に利用されていると思うが、開業から本日までの所感を伺う。

教育長 「まちなみテラス」は、町並みの散策時に対応ができる公衆トイレを設置してほしいという希望等があり、やっと要望に応じて実現できうれしく思っている。

開設後には町歩きをする来訪者の方に利用いただいている状況であり、充実感を持っている。地域の皆様にとっても憩いの場、集いの場所になればと感じている。

大串 場所がわかりにくいとの声があるが。

教育長 正面まで行くと

戸袋があつて、そこに「まちなみテラス」という表示はしてある。

また、グループでも検索をすれば出てくるので案内の仕方も工夫する。声を聞きながら、検討していく。

大串 地域の人には「まちなみテラス」の周知は行われていると思う。その地域だけではなく、嬉野市全体として憩いの場になつてほしいと考えるが。

教育長 時間をかけながらPRをしていく必要がある。

大串 歴史や魅力を伝える映像も放映されているが、その狙いは。



▲ 今後の活用に期待

そうするとやはり興味、関心、理解力も一段と高まるのではという観点から映像的なものを入れていく。

大串 映像の中で、お茶を楽しむ場面があり、そこに出てくる茶器が他県産地の物であり残念に感じた。

貢献してきた歴史から考え、伝統・地場産業を守っていくためにも振興していく部署があつてもよいのではないか。

副市長 観光商工課の商工のグループと商工会と一緒に、産業振興の推進等には今取り組んでいる。

観光政策について

山口 新幹線開業後、各課と商店街等の連携はどのようになっている。

観光商工課長 連携は行っている。今回は、地域開発プロジェクトのメンバーを中心に酒蔵も入って、安心安全なまち歩きをしていただく。

まちづくりについて

山口 塩田庁舎等周辺を文教ゾーンにとあるが、経済対策がないと文化のみでは厳しいのではないか。

企画政策課長

市民が集う拠点、市役所の窓口は残し、官民連携や民間の活用部分も議論の中で検討していく。

医療センター跡地活用について

山口 跡地活用の構想、計画はどうなっている。

新幹線・まちづくり課長 調査結果は今年度未完成、国へ提出後公表となる。市民皆さんからの意見を整理し都市計画審議会へはかり民間事業者への公募へ向け準備を進める。



▲ 稼げる農業を目指して

一般質問



増田 朝子 議員

ファミリーサポート無料券の利用を兄弟姉妹にも

答 ぜび使っていただきたい



増田 こどもセンターのあり方と妊娠前から子育てにわたる切れ目ない支援の考え方はいかがか。

市長 当事者目線に立った寄り添い方支援で日常的、継続的に利用できる身近な場所で支援していくことが重要である。

また、関係機関と密接な連携を図りながら、継続的な支援を実施していくと考える。

増田 ファミリーサポート事業の周知はどのようにされているか。

子育て未来課長 子育て支援センターやこどもセンターが赤ちゃん相談の開催場所に向いていき周知をしている。

増田 幼稚園、保育園の総会や小学校の入学説明会等に向いての説明はできないか。

子育て未来課長 出来れば今後、取り組んでいきたい。

増田 ファミリーサポート無料券の利用状況が令和3年度交付者174名に対し24名はどのように思われるか。

子育て未来課長 低いと感じている。

増田 出生時一人目に4枚、2人目に4枚、3人目には6枚の無料券が配布されており、現在の利用対象は新生児のみとなっている。

この事業は、保護者のリフレッシュが目的で、母親が選択してよいと思うかがかか。

子育て未来課長 兄弟姉妹にも使っていたらいい。

大野原高原学園通学・留学生制度について

増田 この制度導入の経緯を伺う。

教育長 大野原校区の子どもが減少し、地域の方が何とかしたいと立ち上がったってきた。

増田 内容と通学・留学に向けての流れを伺う。

教育長 対象は、小学1年生から中学2年生。受け入れは、実行委員会、育成会の承認が必要である。

増田 利用状況は。
教育長 留学生小1男児、市内から小2男児、市外から中2女子と男子で、来年度は愛知県から3人の留学生の予定がある。



▲ 使ってほしい！無料券



田中 政司 議員

ふるさと納税の
今後の考え方は

答 貴重な財源であり地域
経済の発展につながる



田中 目標額はどうか。
市長 具体的な目標額は立てにくい。令和5年度の当初予算33億円を少しずつ積み上げていけるような目標を立てたい。

田中 ふるさと納税は、嬉野市に好意を持っていただき、寄附をしていたのが基本である、そのための仕掛けは。

企画政策課長 今までは返礼品をお返しするという部分で終わっていた。

市の情報などを掲載した「ふるさとブック」を作成したので、利用していきたい。

市長 ふるさと納税を原資に、どのような事業を行い、どのような効果があったのか、寄附していただいた方に、実感を伴って受け止めてもらえるよう努力していく。

学校トイレの洋式化について

田中 市内小中学校の、トイレの洋式化率は、全国や佐賀県の平均よりも若干低いが見解を伺う。

市長 方向性としては、洋式化を進めていくべきと思う。

学校の老朽化が進んでいるのが背景にある、今後、施設の改修が必要になってくるので、タイミングを見つつ、計画的に取り組んでいきたい。

学校が、地域に開かれた存在でなければならず、災害時の避難場所になる確率が高いこともあるので、多様な人たちが使うことを想定したトイレの在り方を、今後検討していきたい。

教育長 建て替えや改修

消防団の再編について

の時期が迫ってきている、必要性を感じながら、そういった時宜を得ながらお願いしていく。

田中 集中改革プランでの結果と第2次の取り扱いはどうなっているか。

総務・防災課長 集中改革プランでは30部程度に削減するという計画で、結果39部を35部まで変更した。

現在は消防団をめぐる情勢も、様々変化してきている。今後、変更や施策に関しては消防団と協議しながら、検討を行っていく。



▲ ふるさと納税でできた遊具施設

阿部 愛子 議員



独居高齢者の
命を守る体制は

答 対応を検討している

阿部 高齢者と地域との連携体制の取り組みはどうなっているか。

福祉課長 緊急通報装置を貸与することにより、急病等の緊急時に迅速かつ適切に、対応を行う体制の構築や地域の福祉連絡員によって、日常生活の安全確保を目指している。

阿部 介護サービスの休日と大型連休が重なった場合の体制はどうなっているのか。

福祉課長 サービスの調整を行っている。市では救急医療情報キットを記

載して自宅に準備する取り組みを行っている。

阿部 介護サービス事業者と民生委員や区長との連絡体制は構築されているか。

福祉課長 個人全てと連絡体制を構築するのは難しい。支援が必要な場合は、担当者会議を開催し個別ケースの対応を検討している。

嬉野図書館の
トイレの改善について

阿部 ユニバーサルデザインになっているか。



▲ 守らなければならない水資源



宮崎 良平 議員

水資源保護条例の進捗は

答 水資源条例(案)まで作成してある

宮崎 これまでも水資源保護条例の提案をしてきたが、進捗を伺う。

環境下水道課長 水資源保護条例制定の進捗は、

先進地自治体の事例等を参考に、現在水資源保護条例案を作成してある。

今後、水資源保全全国自治体連絡会担当者会議等で、この条例案の運用に際して必要となる審議

会の構成や、具体的な規制の方法等、情報を収集し、検証を重ねて準備を行いたい。

また、ゼロカーボンニューtralに向けた事業を新たに展開することを計画している中で、自然エネルギーや再生エネルギーのポテンシャル調査など、例えば、中山間地域を利用した水力発電

などの事業の推進について計画を行う可能性が

ある。

そうすると、水資源条例の規制内容との複合的な調整が必要となるため、脱炭素事業の計画の進捗に合わせて進めてまいりたいと考えている。

宮崎 保護条例区域はどうなるのか。

建設部長 まずもって安全な水道水の確保という観点からの条例制定だと思っているが、外国資本による乱開発や、歓迎しない開発というのも想定をされる。

水道水の水源となる地域のみでは、なかなか対応できないと思うっており、区域についてはもう少し広範囲的に検討していきたい。



消防団の環境整備について

宮崎 市内38機庫ある中

市名義が10件、地縁団体また行政区名義が9件、個人名義が6件、名義が明確でないものが11件ある。また区民が賃貸料を支払われている分団もある。

建設部長 現況の把握と公平性を保ち、機庫整備の計画の見直しをすべきと考える

がいかかがか。

総務・防災課長 消防団の話所及び機庫の土地、建物の整備は市が行う公共施設であるというのが原則と認識している。

今後、機庫の適切な位置や、団の編成等協議しながら、計画的に進めていく必要があると考えている。



▲ 緊急時命を守るキット

教育長 なっていない。

阿部 和式トイレを洋式に改善することは考えているか。

教育長 ユニバーサルデザインの洋式に今後検討していきたい。

阿部 多機能トイレのアイコンカーテンは、プライバシー保護が困難で改善が必要ではないか。

教育長 もともと図書館としてスタートしていない。階段の下を使って設置されている状況なので、今後検討していきたい。

消防団員の処遇改善について

阿部 劣化した活動服、安全な靴の装備品など団員の希望に添える支給になっっているか。

総務・防災課長 今年度は安全な編み上げ靴の予算を計上している、基本的には全員に行き渡ることになる予定。

阿部 災害出勤及び警戒訓練に係る報酬の現状はどうか。

総務・防災課長 出動手当が一人一回1700円、訓練手当が一人一回につき1800円で、時給制ではない。



委員会レポート

動く!! 委員会

SAGA2024 国スポ・全障スポについて

総務企画常任委員会

調査目的

SAGA2024国スポ・全障スポは、競技関係者、観客等の迎え入れはもちろん、宿泊地としての役割も極めて大きい。

観光地としての魅力発信や今後の観光客誘致につなげられるよう歓迎、おもてなしが重要と考える。県との連携及び市の役割について調査を行った。

委員会の意見

当市は国スポ競技で、軟式野球、レスリング、なぎなた、またデモンストレーションスポーツとしてスポーツチャンバラが実施される。全障スポではポッチャ、オープン競技の車椅子サッカーの競技会場となり、大会運営及び関係者、選手団の受け入れを担うことになる。

古くから観光の街として栄えてきた嬉野市においては、近隣市町で行われる競技者の



▲アリーナで説明を受ける委員会

受け入れ等も視野に入れた取り組み、また全障スポにおいても、ユニバーサルデザイン推進市としてこれまで培われてきた実績や経験を最大限生かしながら迎え入れる体制を整えていくことが重要と考える。

観光地として、今後の観光客誘致に繋げられる大きなチャンスと捉え、最大限の歓迎とおもてなしで、競技者・関係者、観客の方々を迎え入れる体制を整え、存分に嬉野市の魅力を伝えられるよう努めるべきである。

小中学校の学力向上対策及び 伝統的建造物群保存地区について

文教福祉常任委員会

調査目的

令和4年度全国学力・学習状況調査において全国トップの成績を出している石川県の学力向上対策について調査研究を行った。

また、金沢市は、重要伝統的建造物群保存地区に4地区が指定されている。本市の伝建地区の今後の保存・発展につなげるために調査研究を行った。

委員会の意見

石川県かほく市では、教育目標達成のためのPDCAサイクルを確立されている。

児童生徒の自己肯定感を育みながら、学力向上を図るためには、学校・家庭・地域が一体となつて、児童生徒が自ら学びに向かう環境づくりに取り組む必要があると考える。

また、金沢市は、伝統的建造物群保存地区に対する熱意を感じる事ができた。多くの職人たちの手により文化財



▲金沢市伝統的建造物群保存地区で説明を受ける委員会

の修復等が行われ、歴史的な町並みの維持向上がなされている。伝統的建造物群保存地区が観光資源として重要な役割を担っている。

本市においても火災や水害などに対する防災機能を充実させながら、観光資源としての活用も大いに図るべきであると考ええる。



観光まちづくりについて

産業建設常任委員会

調査目的

新幹線を観光産業振興につなげるため、来年3月に新幹線が開業する敦賀市に「新幹線開業を見据えた観光まちづくり」について調査を行った。

委員会の意見

敦賀市では、新幹線の開業に向けてハード事業は国の補助金を活用して官民一体で整備を完了していた。駅前の知育・啓発施設の整備は、借地料に下限と上限を設定し、その範囲内で整備を民間に任せるといふやり方で、市が極力整備費を抑える手法で行われていた。施設自体は、書店で読書スペースとカフェ、2階には多目的に利用できるセミナースペースが設けてあり、幅広い年齢層で利用されている。

また、二次交通に関しては、駅前から周遊バスが運行され、市内11カ所の観光地を周遊しており、本市においても早急

に検討すべきと考える。

ソフト面では、敦賀市を盛り上げ、魅力を発信する「敦賀をひろげるプロジェクト」として、まちづくりに想いを持つ20代から80代までの多様な方々が参加して企画実行に向け取り組まれていた。

民間の取り組みではあるが、火付け役や補助金は行政が賄い官民一体で行われていた。本市としても、官民一体で取り組み、昨年認可を受けた嬉野版DMOが幅広く展開されることを望む。



▲「ちえなみき」にて説明を受ける委員会

閉会中の委員会審査(調査)付託案件

付託事件名	付託委員会名	付託期間
地域コミュニティのあり方について	総務企画常任委員会	次期定例会まで
福祉について	文教福祉常任委員会	次期定例会まで
各期の議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項	議会運営委員会	次期定例会まで
議会の活性化を図るための調査研究	議会活性化特別委員会	調査終了まで
議会広報の編集発行に係る調査研究	議会広報編集特別委員会	調査終了まで
市庁舎のあり方に関する調査研究	市庁舎検討特別委員会	調査終了まで
議会ICT化の推進に係る調査研究	議会ICT化の推進に係る特別委員会	調査終了まで

第2回定例会 会期日程(案)

6月																						
23日	22日	21日	20日	19日	18日	17日	16日	15日	14日	13日	12日	11日	10日	9日	8日	7日	6日	5日	4日	3日	2日	1日
金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木
討論・採決、閉会	休会	一般質問	一般質問	一般質問	休会	休会	議案質疑	議案質疑	休会	休会	休会	休会	休会	休会	休会	休会	休会	常任委員会	休会	休会	常任委員会	開会
									出席のため 議長会 全国市議会						出席のため 全国市長会							

ときの人

上野 彩華さん



受賞作は
こちら



ダブル受賞の立役者

日本新聞協会のコンクールで優秀賞受賞

今回のとき的人是「第13回一緒に読もう！新聞コンクール」（日本新聞協会主催）において、久間小学校の最優秀学校賞の受賞に続き、個人の部においては、小児が

今回の受賞おめでとうございませす。率直な感想は。彩華さん 最初は「えっ、うっそー」って感じで、びっくりしました。受賞できてとてもうれしです。

今も新聞は読んでいます。毎日読んでいます。一通り読み、気になった記事があれば、さらに読んでいる状況です。

今も報道委員会で活動しているの。彩華さん 報道委員会は5年生まででした。今は、図書委員会です。

興味や関心があることは。彩華さん 外国の洋服のデザインやおしゃれの事は興味があります。また、よく報道されるロシア・ウクライナ戦争の状況も非常に気になっています。

好きな食べ物。彩華さん イチゴが大好きです。

好きな教科や嫌いな教科は。彩華さん 外国語が好きです。オンライン英会話は特に楽しいです。嫌いな教科はありません。

好きな漫画のキャラクターを描いたり、風景をスケッチしたりしています。

今年度、最上級生としての意気込みは。彩華さん 今まで自分が経験したことを忘れず、下級生を引っ張っていくような6年生になりたいです。

何かスポーツなどはやっているの。彩華さん 小学1年から水泳をやっています。

取材を終えて 最初は緊張していた彩華さん。取材を進めるにつれ彼女のしっかりとして自信に満ちあふれた考えや受け答えを聞き、感動を感じ本当に「立派」としか言いようのない時間でした。彼女の今後更なる活躍に期待したいです。

将来、どういう大人になりたい。彩華さん 優しくして他の人が憧れる、また、過去の自分を超えられるような立派な大人になりたいです。



▲毎日、新聞をチェックする上野さん

議会広報編集特別委員会

- 委員長 諸上栄大
副委員長 山口虎太郎
委員 田中政司
川内聖二
諸井義人
阿部愛子
大串友則

コラム COLUMN

怖いもの言い伝えに「地震・雷・火事・親父」というものがある。これは世の中で恐れられているものを列挙したものである。現代においてもある程度領けるものである。▼「地震」は、東日本大震災、トルコ・シリア大地震で多くの犠牲者が出たように最も怖いものである。「雷」「火事」においては、予報や防火機器等の発達で以前よりかなり減少している。しかし、商業施設等密集地では、今なお大規模火災が発生している現状である。最後の「親父」は、昔ほど怖いものとは言えないようである。▼令和版として言い換えれば、「地震・台風・大雨・戦争」と言えるかも。戦争以外は自然災害として人間の力ではどうにもならない。予報の精度を上げ、防災意識を高めて備えよう。▼戦争は、人類の最悪の悪行と言える。世界の指導者は、叡智を結集して平和を希求してもらいたい。(義人)